

古賀市介護保険運営協議会（令和3年度第2回）に係る意見等の
取りまとめについて

【4 議事】

(1) 第8期介護保険事業計画の概要（第2章）…………… 計画書参照

- ・ 計画書 13 ページ、要介護に至る原因で、骨折(14.7%)・筋骨格系疾患(14.3%)の割合が高いことにもっと注目すべきではないでしょうか。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

特に、要支援認定者において骨折や筋骨格系疾患が多く、外出を控える要因の一つであると考えており、そういった状態にならないように、健康づくりや介護予防を推進しているところです。

- ・ 計画書 13 ページ、要介護（支援）新規認定者の原因疾病において、生活習慣病による疾病やフレイルによることが示されているため、その予防が必要であると思います。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

市としても、健康づくりや介護予防の重要性を認識しているところです。

- ・ 平成31年度高齢者実態調査の回答率は、第7期の調査と比較してかなり低い結果となっております。調査方法が影響したのではないかと考えますが、今後、検討の余地はあると思います。

またアンケート結果は、図も併用された方が見やすいのではないかと考えますが、分析して課題を表記されているのは良いと思います。

→ ご意見として頂きます。

- ・ 計画書 43 ページ、地域の身近な集いの場と社会参加について、地域の担い手の育成が大事であり、地域づくりにおける企画・運営（お世話役）として参加しない人の割合が約6割という状況であるため、対策を講じる必要があるのではないかと考えます。

→ 市としても大変重要な課題であることを認識しており、第8期計画において、「地域づくりと人材育成」は重点的に実施すべき取組として位置付けております。

- ・ 住み慣れた地域で最期まで住み続けるために必要なサービスを提供できるようにするには、まだ、道のりは遠いように思います。更なる創意工夫、民間との連携が必要ではないかと思えます。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

「住み慣れた地域で共に支えあい、最期まで安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて、第8期計画においても引き続き、古賀市版地域包括ケアシステムの構築の更なる推進を目指していきます。
- ・ 計画書 46、47 ページに記載されている図表のうち、無回答に分類されているのは年齢が不明の方でしょうか。また、[]内に記載されている数値は人数と思いますが、総数の表示や説明文の記載があると親切だと思います。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

無回答に分類された方は、回答に年齢区分の記載がなく、年齢が不明である方を計上しております。

また、[]内は回答者数を記載しております。ご指摘については、今後、資料等作成時の参考にさせていただきます。
- ・ 計画書 50 ページ、咀嚼機能リスクについて、自覚されているよりも、機能低下が認められるケース（歯科医院内での機能検査を通して）がかなりあると思えます。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

今年度より、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組んでおります。後期高齢者が増加する中で、高齢者一人一人に対し、多様な課題に対応したきめ細やかな保健事業を実施し、運動、食事に加え、口腔ケア・口腔機能の向上についても推進しているところです。
- ・ 計画書 51 ページ、図 4-29「高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか」において、ニーズとして一番多かったのが、「在宅での生活を続けられるような多様な福祉・介護サービスの整備 (21.8%)」、次いで、「健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組 (14.3%)」であることが分かりました。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

- ・ 計画書 51 ページ、図 4-30「将来、仮に介護が必要になったときに、どのように暮らしたいと思いますか」について、約 70%の市民の方が自宅で暮らしたいと願っています。時々、施設で生ずる諸問題に触れると、何とかして自宅で暮らし人生の最後を迎えたいと思いますが、そのために、自宅介護に対する行政の効率的な支援を望みます。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

市としましても、高齢者が住み慣れた地域で最期まで尊厳のある暮らしを続けていけるよう、安心して生活できる地域づくりや在宅医療・介護の連携体制の構築を図って参ります。

- ・ 終末期に備えた対話の必要性に関する普及啓発に力をいれていくことが必要であると思います。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

終末期への備えに関しては、在宅医療・介護連携推進事業において看取りに関する住民講座の開催や、市広報誌にて人生会議に関する記事を掲載する等により普及啓発を図っております。今後も継続して取り組んで参ります。

- ・ 計画書 65、66 ページ、青柳小校区の高齢者実態調査結果における特徴の中で、「近所の人とほとんどつきあいが無い」と回答した人の割合が、8 小学校区の中で最も低い（図表 5-16）となっていますが、これは、「つきあいが無い」と思っている人が最も少ないということで、ポジティブな解釈として良いでしょうか。

→ そのように解釈していただいて構いません。

※「あなたは、近所の人と、どの程度のおつきあいをしていますか」という設問に対して、「ほとんどつきあいが無い」と回答した人の割合が低い。

- ・ 「困ったときに助けてもらいたい」と「これなら協力できる」のマッチングは大切な取組だと思います。この項目は選択肢を提示したものです。フリーコメントの内容もあるならば知りたいです。

→ この項目は、選択肢を提示したものになりますので、フリーコメントはございません。

- ・ 生活課題は、益々多様化・複雑化・変化すると思われるため、ニーズを継続的に幅広く吸い上げる仕組みもあるといいと思います。地域づくりについても、住民と専門職や団体のコーディネート機能が強化できれ

ばいいと思います。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。今後の事務事業の事業展開等において、参考にさせていただきます。

- ・ 計画書の書き方について、(第7期計画と比較して)表の文字が大きくなって見やすくなりましたが、各項目の標題はもう少し大きめにすると見やすいのではないのでしょうか。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。今後、資料等を作成していく上で、参考にさせていただきます。

(2) 介護保険事業における第7期計画の人口等の推計値と実績値について

.....資料1

- ・ 2020年度時点で、推計値と実績値にかなりの差が見られますが、2025年推計値は、再度の推計(をする予定)はありますか。

→ 第8期計画において以下のとおり再度推計しております。
説明が不足しており申し訳ありません。

(2025年の推計値：第8期計画書8、9、12ページ参照)

- ・ 総人口 59,585人 ・ 65歳以上人口 17,172人 ・ 高齢化率 28.8%
- ・ 認定者数 2,704人 ・ 認定率 15.5%

- ・ 要介護(支援)認定者数の推計について、計画書11ページの数字と若干違うのは、算出時期が違うのでしょうか。同じにしないのはなぜでしょうか。

→ 資料1(第7期計画)は9月末時点で算出しております。

本市の第7期計画では9月末の数値を用いて年度の認定者数としておりましたが、決算や他の資料においては3月末の数値を用いて当該年度の認定者数としていることが多いため、第8期計画においては3月末時点で算出しております。

説明が不足しており申し訳ございません。

- ・ 認定者数に第2号被保険者を除くと、認定率は正確な数字にならないのではないのでしょうか。

→ 要介護(支援)認定率は、第1号被保険者のみを母数として算出しております。これは、厚生労働省へ報告しております介護保険事業状況報告書における要介護(支援)認定率の算出方法も同様であり、

この数値を活用することにより、全国、福岡県との比較が可能となりますので、第2号被保険者を除いて算出しております。

- ・ 要介護（支援）認定者数において、推計値より実績値が低くなっていることや、要介護4のみが推計値に対して実績値が増加していることに対して、要因は把握されていますか。

→ 要介護（支援）認定者数について、本市の要介護認定率はここ数年12%台で推移しており計画値まで伸びておりません。早くから介護予防に力を入れてきたことがこのような結果に繋がっていると認識しています。

要介護4が増加している要因としまして、要介護（支援）認定者数における介護度の重度化が考えられます。

- ・ 介護認定者数なので総合事業の方の数が見えていきませんが、どこかに記載すべきではないでしょうか。

→ 第7期計画においては総合事業対象者の推計値を掲載しておりませんでしたので、今回実績値を表記しておりません。第8期計画では総合事業対象者の推計値を算出しておりますので、今後は記載させていただくこととなります。

(3) 介護サービスの利用状況 …………… 資料2

- ・ 計画通りに地域密着型の介護施設ができたことによる、審査件数、介護給付費の伸びは仕方ないことで、総計では給付費は今後も伸びていくことが見込まれます。審査件数においては計画値よりかなり下回っていることは、介護予防効果の結果なのでしょう。

→ 要介護認定者数について、計画値より実績値が低く、結果として審査件数（給付費）の減に繋がりましたが、介護予防に取り組んできた効果であると認識しております。

- ・ 利用状況は右肩上がりとなっておりますが、高齢化が進むに連れて、介護状態になってしまう割合が増えてくるのであれば、予防への取組が増々重要になってくるのではないのでしょうか。

→ 高齢者が介護予防活動に参加するだけでなく、地域の担い手となり活躍し続けることで、支え合う地域づくりが大変重要であると認識しています。計画の基本理念「住み慣れた地域で共に支えあい、最期まで安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて、古賀市版地域

包括ケアシステムの構築の更なる推進を目指していきます。

- ・ 介護度別のサービス利用状況やニーズについても知ることができれば良いと思います。また、利用ニーズと実際の利用状況の比較、もし差異があるならその要因についても検討・考察できれば良いと思います。また、主にリハビリになるとと思いますが、医療保険からの移行状況についても検討材料になると思います。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

現状では把握が難しい内容ですが、今後の事務事業における事業展開等の参考にさせていただきます。

(4) 地域支援事業（事業費）の状況 …………… 資料3

- ・ 令和2年度に、全体的に事業費が減少しているのは、コロナ禍で利用控えがあったという解釈でよろしいでしょうか。

→ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から予定していた事業を中止、縮小したことの影響により事業費が減少しております。

- ・ 「事業対象者が増える」ということは、「介護申請をする人が少なかった」ということになるのでしょうか。それとも、「介護保険非該当者が多かった」ということになるのでしょうか。

→ 結果的に「介護申請をする人が少なかった」ということになりま

す。

介護認定の申請があった際に、その方の状況や状態並びに希望するサービス内容を伺ったうえで、総合事業で対応できる（希望される）場合は、結果的に介護認定の申請をする必要がなくなるため。

- ・ 令和3年度の介護予防事業は、令和2年度より行えるようになってい

るのでしょうか。

→ 新型コロナウイルスの感染者は増加しており、令和3年度においても国の動向（緊急事態措置の実施等）を踏まえ、介護予防事業の中止等の措置を講じる必要があります。

外出の自粛や地域での活動を控える中で、フレイル予防として、自宅で行う介護予防の取組（家トレ：お家でできるトレーニング）を第8期計画の重点的に実施すべき取組として位置付け、推進していき

ます。

- ・ 計画書 33 ページ、地域包括支援事業費の高齢者虐待対策事業は、2019 年は数字がないのはなぜでしょうか。また、2020 年はどうだったのでしょうか。
→ 高齢者虐待による対応ケースのうち、緊急一時保護が必要な場合に特別養護老人ホーム等への措置を行った際に必要となった決算額を記載しております。2019 年及び 2020 年は一時保護のケースが発生しなかったため支出しておりません。
- ・ 計画書 34 ページ、地域包括支援事業費（社会保障充実分）の認知症初期集中支援事業が大きく減少している理由は为什么呢。
→ 本事業は 2018 年度より開始し、認知症に関する普及啓発を行うためにパンフレット（認知症ケアパス）を作成しました。2019 年度は印刷に係る経費を減額したことが主な要因です。
- ・ 介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業費（社会保障充実分）について、2020 年度が減少している要因は为什么呢。
→ 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から予定していた事業を中止、縮小したことの影響により事業費が減少しております。
- ・ 住民のニーズからすると、総合事業への重点化が望まれると思います。
→ 貴重なご意見ありがとうございます。総合事業の推進のひとつとしては令和 3 年度より市内 3 か所に増設した地域包括支援センターを中心に高齢者の総合相談、支援をきめ細やかに行い、それぞれの状態・希望に応じた介護予防の推進につなげることが重要と考えます。

(5) 介護保険事業計画（第 7 期）に記載した取組と目標に対する実績と評価
..... 資料 4

- ・ 全体的に評価が「◎」、「○」が多く、目標が達成できたという解釈ができると思います。計画が課題解決に取り組みながら推進できた証拠であると思います。
→ ご意見として頂きます。

- ・ 花鶴地域では、「ヘルスステーション事業」などは、堅実に進められ、大きな成果をあげ続けています。しかし、福祉会による公民館活動が中止され、地域住民の繋がりが少なくなっています。コロナの状況の中で、どのようなプログラムなら実施できるのか、検討していく必要があるだろうと思います。「孤立がまねく健康被害、自粛生活に潜む危険」という問題が、テレビ（NHK、クローズアップ現代）で取り上げられています。コロナ感染と介護の諸問題について、更に深く掘り下げた検討を行う必要があると思われます。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。今後の事務事業における事業展開等において、参考にさせていただきます。
- ・ 災害時要援護者の地域における把握できているのでしょうか。策定は地域力の強化に繋がると思います。

→ 古賀市避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）に基づき、同意を得た避難行動要支援者の情報につきましては、自主防災組織等に提供し地域の防災教室などで活用されております。今後も、自主防災組織、民生委員・児童委員協議会などとの連携により、情報の更新を図り、実効性のある個別計画の策定に取り組んでまいります。
- ・ 計画書 73 ページ、基本施策の実施状況について、細かな説明を計画書に記載していないのはなぜでしょうか。7 期計画書とかなりの違いがあります。

→ 第 7 期計画では基本施策ごとに取組の概要と課題を表で記しておりましたが、第 8 期計画においては、基本施策ごとに文章にて取組を記載し、そこから見えた課題を抽出しました。文章による説明の根拠として図表にて成果指標の計画値及び実績値を提示しております。
- ・ 計画書 75 ページ、(4)一人暮らし高齢者の増加により、安心して自宅で暮らしていくためにどんな支援が必要か、しっかり考え早急に対応していく必要があると思われます。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。今後の事務事業における事業展開等において、参考にさせていただきます。
- ・ 計画書 77 ページ、地域課題「地域ケア個別会議」、「地域ケア推進会議」はどのような位置づけになっているのでしょうか。

「個別会議」のメンバー構成を教えてください。

- 「地域ケア個別会議」は、地域包括支援センターが主催し、個別ケースの課題解決や自立支援を目的に月単位で実施しています。また「地域ケア推進会議」は、市が主催し、地域ケア個別会議で抽出された地域課題について、地域や市の施策へ反映して課題解決に向けた協議を行うことを目的として年1回程度実施しています。

「個別会議」の主なメンバー構成は地域包括支援センター3職種（保健師等、社会福祉士、主任ケアマネジャー）、行政（保険者）、助言者（5職種：リハビリ専門職、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士 地域活動専門職：生活支援コーディネーター、社協）です。
- ・ 計画書 77 ページ、(2) 生活支援体制整備事業から見えた課題において、「見える化」として内容が充実した情報誌ができていますが、もっと広く地域に広げて啓発していくと良いのではと思います。
 - 貴重なご意見ありがとうございます。緊急事態宣言も明け、また新型コロナウイルスの予防接種が進み地域活動が少しずつ再開され始めています。健康づくりや介護予防関連のサポーター活動や地域活動をとおして広く市民に配布し、周知啓発に努めて参ります。
- ・ ③介護保険サービスの適正な運用（ス）介護サービスに関する啓発と情報提供について、市のホームページにサービス事業所の一覧が掲示してあったが、それを知らない居宅介護支援事業所も数か所ありました。ケアマネジャーとして、それを持参して、訪問、説明することもあるため、そのような情報は何らかの形で平等に伝えていただきたいと思います。今後、基幹型地域包括支援センターは、第1・2・3地域包括支援センター（委託型）との連携、支援は当然のことながら、実際、高齢者とその家族と関わっている居宅介護支援事業所にも情報発信していただきたいです。介護保険べんり帳に、「在宅高齢者介護用品（紙おむつ）給付事業」は記載すべきだと思います。
 - 貴重なご意見ありがとうございます。今後の事務事業における事業展開等において参考にさせていただきます。
- ・ 次期計画に向けて、数値目標なしの項目について、現状の状況把握及びその適正についての検討は必要かと思います。
 - ご意見として頂きます。

(6) その他

- ・ 計画書 3 ページ、本計画の位置付けを図によって示されたのは分かりやすいと思います。

計画書 5 ページ、計画の基本理念が後段に表記されており、第 7 期計画にある「視点」の記載がないのはなぜでしょうか。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。

古賀市版地域包括ケアシステムの構築の更なる推進をめざすため、第 7 期計画の基本理念、基本目標及び基本施策を継承した上で、第 8 期計画を策定しております。基本理念の視点の必要性に関しては、次期計画を作成する上で、検討させていただきます。

- ・ 計画の推進体制、進行管理を後段に記載した理由はありますか。

→ 第 8 期計画においては、まず、課題や課題に対する施策及び具体的取組をお示しした上で、今後の（これからの）評価や課題等の進捗管理体制を記載したためです。

- ・ 第 7 期計画策定時において、「介護支援専門員（ケアマネジャー）に関するアンケート調査」を実施されていますが、第 8 期計画策定時には実施されていないのでしょうか。

→ 実施しておりません。